

令和6年度大学・高専機能強化支援事業
（支援1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
事業概要

令和6年2月申請時点

1. 基本情報

大学名	大手前大学		設置区分	私立
学校種	大学		都道府県	兵庫
大学全体の総収容定員	3,190 名	※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	国際日本学部（国際日本学科）、建築＆芸術学部（建築＆芸術学科）、現代社会学部（現代社会学科）、健康栄養学部（管理栄養学科）、国際看護学部（看護学科）、経営学部（経営学科）、現代社会学部（現代社会学科 通信教育課程）			
事業計画名	大手前大学理系学部設置計画			

2. 事業概要

大手前大学は、令和9年4月に本学初の理系学部である情報学部（仮称）を設置する。入学定員は100人、収容定員は400人とする。 情報学部（仮称）においては、まずは情報学における基礎的な知識や技術を修得し、続いて演習科目等を通じて知識や技術の定着を図るとともに、より高度な専門知識や技術を身に付ける。併せて、これらの専門的な知識やデジタル技術を社会の課題解決に活用するため、「産官学連携PBL授業」を取り入れる。既設学部とのクロスオーバーによる学びも利用し、社会の様々な領域における問題点に気づき、これらを情報学の知識や技術という観点・手法を用いて解決し、さらに社会実装を行うことで社会に貢献することができるデジタル推進人材の育成を目指す。 このため、探求学習に積極的に取り組んだ者、課題解決のために他者と協働できるコミュニケーション能力の素地を有する者を入学者選抜では評価するものとし、身に付けた知識・技術を基に社会課題を解決することを志向する情報学部（仮称）のカリキュラムに興味関心をいだいてくれる学生を確保していく。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和9年度					
認可申請・届出の別	認可申請					
改組内容	学部の新設					
設置等組織名	情報学部情報学科（仮称）					
設置等組織の学位分野	工学関係	-	-	-	-	-
当該学部等の所在地	兵庫県西宮市					
入学定員	100 名					
収容定員	400 名					
入学定員の増加数	100 名					
他学部等の入学定員の減少数	80 名					

事業計画名 大手前大学理系学部設置計画					
基本情報					
改組予定年度	令和9年度	設置等組織名	情報学部情報学科	入学定員増数(合計数)	100名
所在地	兵庫県西宮市	改組内容	学部の新設	入学定員減数(合計数)	80名

- <社会や地域のニーズ・課題>

 - 近畿地区における情報学部の志願者数は高水準
 - 兵庫県下の私立大学の理系情報学部はわずか3校
- データやデジタル技術を活用した新たなサービスの創出が急務
 - 地域の中堅企業やグローバル企業におけるデジタル推進人材の需要
 - 産官学連携PBL授業を通じたデジタル実装の提案

<設置学部等の概要・コンセプト・特徴など>

- 既設の「情報・コンピュータ専攻」をスピンアウトし、工学系の学びに深化させたデジタル実装力を養うカリキュラム
- 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度を基盤にした先端技術教育
- 長年培ってきた学部横断型教育（クロスオーバー）と社会の課題解決を目指すフィールドスタディ（クロスバウンダリー）の継承
- 新校舎建設におけるアイデアをカタチにする創発型学習スペース「オープンラボ」の設置

学びのクロスオーバー
×
デジタル実装

クロスオーバー・クロスバウンダリー科目

国際日本学部 建築＆芸術学部 現代社会学部
経営学部 健康栄養学部 国際看護学部

4年 3年

産官学連携PBL 専門応用科目

2年 1年

教養科目 専門基礎科目
入門科目

情報学部（仮称）

<多様な入学者の確保>

- 推薦型選抜入試及び一般選抜入試において、数学若しくは情報のいずれかを選択可能とし、「探究入試(仮称)」などの導入を検討
- 関西圏・中四国圏の女子高等学校等への積極的アプローチ
- 出張授業をはじめとする地域の初等中等教育段階の学校との連携
- 「社会人特別入試」を導入するとともに、社会人学生受入れに向けて通信教育課程のリソースを活用

<連携を通じた教育体制の整備>

社会のニーズを踏まえた実学的な学び場の提供

- 人材育成構想会議で共創する実学教育の取り組み（様々な業界の企業等約20社との産官学連携PBL授業）
- 包括連携協定締結自治体、商工会議所との連携
- 大学コンソーシアムとの連携など

実務家教員の派遣、実務家の招聘、ゼミナール、産官学連携PBL授業、インターンシップなど

デジタル実装による解決を牽引する
デジタル推進人材

- ・ITエンジニア、プログラマー
- ・DX推進者など

<教育内容・育成する人材像>

Knowing(知識)・Doing(実践力)・Being(信念と志)に基づいた人材育成

情報学における専門的な知識と技術を身につけ、その高度な専門性を駆使して、社会が直面する諸課題に対する解決策を他者と協働して考え、実践と内省を通じて日々進化し続けるデジタル技術やデータを利活用して課題解決に挑み、持続的に成長できる人材を育成する